

教育社会学

科目ナンバリング SOE-201

選択 2単位

谷村 英洋

1. 授業の概要(ねらい)

教育は、社会のありようどのように結びついているのか。当科目では、下記の3つのテーマを設けてこの問いに取り組んでいく。

- ①教育が人々を選抜し、社会の中に位置付けていくという働き
- ②個人が社会のルールや期待を受け取り、社会的存在へとかわっていくプロセス
- ③高等教育と社会の関わり

履修者には 授業や文献の内容をもとに、自らあれこれ思索するという作業に積極的に取り組むよう求める。当科目はそのような思索を通して、「自明」「当たり前」とみなされがちな教育や学校という制度・営みを、クリティカルにとらえる洞察力を養うことを目的とする。

ただし、当科目で提示する知識や考え方は、いずれも「すぐ役立つ」「実践的」等とは評し難いものである。履修するかどうかは、その点も踏まえて検討してほしい。

授業は講義を中心に構成するが、履修者数に応じて、適宜ディスカッションやグループワークを取り入れる。

2. 授業の到達目標

- ①教育の選抜・配分機能に関する的確な知識を示すこと、または基礎的事項の概略を記述することができる。
- ②社会化に関する的確な知識を示すこと、または基礎的事項の概略を記述することができる。
- ③大学教育の現代的な課題について、的確な知識を示すこと、または概略や意見を記述することができる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内課題 40%

中間試験 10%

期末試験 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

吉田武男（監修）、飯田浩之・岡本智周（編著） 教育社会学（MINERVAはじめて学ぶ教職） ミネルヴァ書房（ISBN:4623084132、2420円（税込））

5. 準備学修の内容

授業の予習・復習のため教科書を読みまとめる。

6. その他履修上の注意事項

講義音声とレジュメ等をLMSで配信する「オンライン授業」です(2020年度秋期)。各回の受講は指定された約1週間の期間内に行ってください(それ以降は課題提出ができなくなります)。中間や期末にオンラインで試験をする際は、すべての履修者が火曜5限の時間内にオンラインで受講・受験する必要があります(それ以外の時間に受けることはできません)。そのほかの注意事項は初回の授業で伝達します。以上の事項を了承して履修してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション:授業内容の概要と、受講上の諸注意 |
| 【第2回】 | 近代学校の成立 |
| 【第3回】 | 選抜・配分と学校教育(1)学歴主義の日本的構造 |
| 【第4回】 | 選抜・配分と学校教育(2)戦後日本と学歴主義 |
| 【第5回】 | 現代日本の教育意識 |
| 【第6回】 | 社会化とアイデンティティ |
| 【第7回】 | 家族と社会化 |
| 【第8回】 | 中間の振り返り |
| 【第9回】 | ジェンダー(1)ジェンダーとは |
| 【第10回】 | ジェンダー(2)学校文化とジェンダー |
| 【第11回】 | 逸脱 |
| 【第12回】 | 日本の高等教育制度 |
| 【第13回】 | 大学教育のレバンスと効用 |
| 【第14回】 | 社会の変容と大学の変容 |
| 【第15回】 | 全体の振り返りと試験 |